

令和2年度第2回那須塩原市環境審議会 意見聴取結果

1 協議事項

(1) 会長及び副会長の選出について

委員名	質問、意見等	回答等
柴崎委員	意見はございません。賛同いたします。	事務局（案）に対して、委員の皆様から賛同、同意等が得られたため、会長に「大久保 忠且 委員」を、副会長に「刈部 敬子 委員」及び「月井 誠一 委員」を選出しました。
君島委員	同意します。	
山口委員	事務局（案）に賛成します。	
栗谷委員	事務局案による会長及び副会長候補者を選任していただくことにつき、異議ございません。	
高山委員	承認致します。	
林委員	賛成します。	
小貫委員	よろしくお願いいたします。	

2 報告事項

(1) 那須塩原市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の進捗状況について

委員名	ページ等	質問、意見等	回答等
林委員	資料2 1ページ 2ページ	<p>図「温室効果ガス総排出量の推移」及び「部門別温室効果ガス排出量の推移」について、2ページ図が見直し後の数値か？</p> <p>H21～H24までは同値ですが、その理由は？</p> <p>基準年の見直しによる目標操作に疑問（国の方針への意見）</p>	<p>「温室効果ガス総排出量の推移」、「部門別温室効果ガス排出量の推移」のどちらについても見直し後の数値を使用しております。</p> <p>なお、本計画を策定した平成25(2013)年度以降は、部門別温室効果ガス排出量の合計から再エネ導入及び森林吸収による温室効果ガス削減量を控除し、温室効果ガス総排出量としています。</p> <p>【例】平成25(2013)年度</p> <p>部門別温室効果ガス排出量の合計 1,087 千 tCO₂…①</p> <p>再エネ導入及び森林吸収による温室効果ガス削減量 25 千 tCO₂ …②</p> <p>温室効果ガス総排出量 = ① - ② = 1,062 千 tCO₂</p> <p>次回報告時には、よりわかりやすい表現となるよう検討いたします。</p>
林委員		<p>再生可能エネルギーと森林吸収に関して、メガソーラー発電の普及が森林破壊になっている現状をどう見るか</p> <p>那須野ヶ原の景観保持の観点からも疑問</p>	<p>再生可能エネルギーの導入拡大には、地域との調和を確保する制度が必要であると考えており、令和2年3月に那須塩原市太陽光発電事業と地域との調和に関する条例を制定したところです。</p>

柴崎委員	資料2 1ページ	1 ページ下半部の棒グラフの棒の高さと数字の関係が分かりにくいです。H30 の 784 は差し引いた値に対して、棒グラフの高さは 889 なので、表現方法を改善したほうがよいと思います。	ご指摘いただいた点について、差し引く値の表現方法の変更、部門別排出量合計の目盛の追加等を行い、よりわかりやすい表現となるよう検討いたします。
柴崎委員	資料2 2ページ	2 ページ下のグラフは、右側の Y 軸に「部門別排出量合計」の目盛と数字を入れたほうがよいと思います。	
柴崎委員	資料2 4ページ	「2. 重点施策…」には、表があるだけで説明文章がありません。簡単な説明文をつけて取り組み状況の評価を書いたほうがよいと思います。	
栗谷委員		数値上は順調に排出量が削減されているようですが、これは地域の再エネ活動の成果によるものでしょうか？ もしくは人口減少や産業縮小の要因が大きいのでしょうか？ 削減要因の分析が可能であればそれを加えるのが望ましいと考えます。	部門別の温室効果ガス排出量では、産業部門、民生家庭部門、民生業務部門において排出量が削減されています。 要因としては、これらの部門のエネルギー源の多くを占める電力における排出係数の減少とともに、省エネ等によりエネルギー消費そのものが削減されていることが要因と考えております。
栗谷委員		現状の進捗状況に記載いただく必要はありませんが、今後、2050年の排出ゼロに向けた具体的施策（ロードマップ）が示されれば望ましいと考えます。	資料2においてお示ししたとおり、改訂時期を迎えた那須塩原市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の全面的な改訂を予定しています。
栗谷委員		以下の宣言を行ったことを取組として記載しなくてもよいでしょうか？ http://www.city.nasushiobara.lg.jp/48/documents/sengensho20191203.pdf ※事務局補足 以下の宣言 → 那須塩原市「CO2 排出量実質ゼロ」宣言	今回の改訂において、市が宣言した「CO2 排出量実質ゼロ」について記載するとともに、達成に向けた取組について記載します。